

令和6年度第3年次編入学選抜
「環境」に関する論述試験
問題冊子

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 解答用紙には、必ず本学部の受験番号を所定の場所に記入すること。
3. 解答は、問題番号に対応する解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙の中の※印欄には記入しないこと。
5. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

「環境」に関する論述試験 問題

- 1 カarbon・ニュートラルに関する以下の問いに答えなさい。
- 問1 カarbon・ニュートラルとは何を意味する言葉かを50字以内で説明しなさい。
- 問2 世界各国が共通の目標として掲げる「2050年Carbon・ニュートラル」の実現に向けて、国内では再生可能エネルギーの普及を促すためにどのような制度が創設、運用されているかを具体的に1つあげ、100字以内で説明しなさい。
- 問3 一般的にバイオマスはCarbon・ニュートラルの性質を有するとされるが、「バイオマスを用いた発電は実際にはCarbon・ニュートラルにならないのではないか」との指摘が国内外でなされている。森林由来の木質バイオマス発電を例に、その理由を200字以内で説明しなさい。

「環境」に関する論述試験 問題

2 脱炭素社会の実現に向けた建築分野での取り組みに関する以下の問いに答えなさい。

問1 建築の省エネルギー化に関する次の4つの用語のうち2つを選び、その意味をそれぞれ50字以内で説明しなさい。

パッシブソーラーシステム

ZEH

CASBEE

BEMS

問2 脱炭素に貢献している建築物あるいはランドスケープ作品の中で、特に優れたものをひとつ具体的にあげ、その所在地、用途、およその建設時期、優れている点について300文字以内で説明しなさい。なお、脱炭素以外の点を含めても構わない。